【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成27年8月27日(2015.8.27)

【公表番号】特表2014-520604(P2014-520604A)
【公表日】平成26年8月25日(2014.8.25)
【年通号数】公開・登録公報2014-045
【出願番号】特願2014-519093(P2014-519093)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｇ　5/00　(2006.01)
Ａ６１Ｇ　7/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｇ　5/00　５０２
Ａ６１Ｇ　7/10

【手続補正書】
【提出日】平成27年7月6日(2015.7.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
椅子であって、
ａ）前部および後部を有する座部であって、前記座部が実質的に水平な状態で前記椅子が座位用位置を有する座部と、
ｂ）前記座部の支持システムであって、各側部エッジに対して折り畳み可能なフレームを具え、当該折り畳み可能なフレームが平行四辺形である、支持システムと；
ｃ）前記前部及び後部の間にあり、前記前部及び後部が互いに枢転できる枢転機構と；
ｄ）前記座部の前記後部から上方へ延在する背もたれと、
ｅ）前記座部を支持する脚部であって、前記座部の前部は使用者を座位用位置から立位用位置に持ち上げるために前記座部の前部の枢転位置から上方へ枢転し、前記座部の前部が前記立位用位置へ向けて上方へ枢転するとき、前記座部の前記後部が実質的に水平を維持するように、前記後部は前記前部に対して枢転する、脚部と、
ｆ）前記座部を前記立位用位置へ向けて上方へ枢転するための駆動装置と、
を含むことを特徴とする椅子。
【請求項２】
請求項１に記載の椅子において、各折り畳み可能なフレームが、前記平行四辺形を形成する複数の部材を具え、前記平行四辺形を形成している部材の一つが、前記座部の前部が前記立位用位置へ向けて上方へ枢転するとき、前記枢転位置の回転に対して固定角度を維持することを特徴とする椅子。
【請求項３】
請求項１又は２に記載の椅子において、前記椅子が、前記背もたれに枢転可能に連結されたアームレストを具え、当該アームレストが前記座位用位置と前記立位用位置において実質的に水平を維持することを特徴とする椅子。
【請求項４】
請求項１に記載の椅子において、前記座部の後部が前記座位用位置と前記立位用位置の両方において、前記背もたれに対して若干下側に傾斜していることを特徴とする椅子。

【請求項５】
請求項１に記載の椅子において、各フレームが、（ｉ）前記座部の後部下側に、前記座部が前記立位用位置に向けて上側に枢転するときに前記座部の後部を実質的に水平に維持する後部支持部と、（ｉｉ）前記後部支持に枢転可能に連結された前記座部の前部下側に、前記座部の前部を支持する前部支持部と、を具えることを特徴とする椅子。
【請求項６】
請求項１に記載の椅子において、前記背もたれが直立位置において脊柱前弯湾曲を有し、前記椅子がリクライニングするとき、前記脊柱前弯湾曲が自動的に部分的に平らになることを特徴とする椅子。
【請求項７】
請求項１に記載の椅子が、後退位置から延伸位置に枢転するよう前記座部の前部に枢転可能に取り付けた脚部と、当該脚部に装着した足支持部と、前記足支持部と前記椅子の支持面との間の摩擦を低減する摩擦低減器と、を具えることを特徴とする椅子。
【請求項８】
請求項７に記載の椅子において、前記脚部が前記後退位置から延伸位置へ枢転する時、前記支持面上に少なくとも一の摩擦低減器がある状態で、より長く伸縮式に伸びることを特徴とする椅子。
【請求項９】
請求項１に記載の椅子において、前記駆動装置がギアモータと組み合わされており、前記椅子の上で使用者の持ち上げとロックを容易にしていることを特徴とする椅子。
【請求項１０】
請求項１に記載の椅子において、前記座部が、前と、当該前から前記座部の背もたれにかけてある長さを有し、前記座部の前部が、前記座部の後部より長いことを特徴とする椅子。
【請求項１１】
請求項１に記載の椅子において、前記座部が、リクライニング位置と実質的に水平な位置との間で、前記枢転位置において枢転可能にロックできることを特徴とする椅子。
【請求項１２】
請求項１に記載の椅子と、前側及び後側を有する支持構造を具える椅子システムであって、当該支持構造が表面上の配置に適しているシステムにおいて、前記支持構造が：
（ａ）一対の離間した支持部を含む基部であって、前記支持部が使用者が前記前側および前記後側からそれらの間に適合できるのに十分な距離だけ離間されている基部と；
（ｂ）前記基部の前方部分から上方へ延在する一対の平行な支持脚部であって、各支持脚部が上部を有する支持脚部と；
（ｃ）前記支持脚部の前記上部をしっかり接続する接続具であって、当該接続具が前記表面の少なくとも６フィート上にあり、前記基部を含む前記脚部の間に他の永久的接続具はなく、前記基部において前記使用者に前記支持構造の前記前側および後側からの進入路を提供する接続具と；
を具えることを特徴とする椅子。
【請求項１３】
請求項１に記載の椅子と、持上げ用衣服を具える椅子システムにおいて：
ａ）持ち上げられるときに、引っ張られる方向に対して垂直に収縮する布から作製された胴部と、
ｂ）持上げ装置を前記衣服に取り付けるための取付金具と、
を含むことを特徴とする椅子システム。
【請求項１４】
請求項１３に記載の椅子システムにおいて、前記持ち上げ用衣服が、前記取付金具によって支持構造に取り付けられていることを特徴とする椅子システム。
【請求項１５】
請求項１に記載の椅子と組み合わせて支持構造を使用する方法において、

ａ）上下にスライドするトレーを有する支持フレームを選択するステップと、
ｂ）前記椅子を上昇させるのと同時に前記トレーを上昇させ、前記椅子を下降させるのと同時にトレーを下降させるステップと、
を含むことを特徴とする方法。
【請求項１６】
請求項１２に記載の椅子システムが：
ａ）引っ張られる方向に対して垂直に収縮する布から作製された胴部と、
ｂ）持上げ装置を前記衣服に取り付けるための取付金具と、
を具える持ち上げ用衣服を更に含むことを特徴とする椅子システム。
【請求項１７】
前側および後側を有し、表面に配置するのに好適な支持フレームであって、
ａ）一対の離間した支持部を含む基部であって、前記支持部は使用者が前記前側および前記後側からそれらの間に適合できるのに十分な距離だけ離間される基部と、
ｂ）前記基部の前方部分から上方へ延在する一対の平行な脚部であって、各脚部が上部を有し、接続具が前記表面の少なくとも６フィート上にある脚部と、
ｃ）前記脚部の前記上部をしっかり接続する接続具であって、前記基部を含む前記脚部の間に他の永久的接続具はなく、それにより前記使用者に前記フレームの前記前側および後側からの進入路を提供する接続具と、
を含むことを特徴とする支持フレーム。
【請求項１８】
持上げ用衣服であって、
ａ）引っ張られる方向に対して垂直に収縮する布から作製された胴部と、
ｂ）持上げ装置を前記衣服に取り付けるための取付金具と、
を含むことを特徴とする持上げ用衣服。
【請求項１９】
持上げ用衣服であって、
ａ）脚部がそれから伸びている身体部分と、
ｂ）持上げ機構を前記衣服に取り付けるために前記身体部分に固定された取付金具と、を含み、前記身体部分の少なくとも一部が材料から形成され、前記材料がバイアスを有し、かつ前記衣服を着用した人を持上げ方向に持ち上げると前記持上げ方向に対して傾斜した方向に前記衣服がその人の上で締まるように配向されていることを特徴とする持上げ用衣服。
【請求項２０】
請求項１に記載の椅子において、前記椅子が一対の前脚部および一対の後脚部を含み、各脚部が上側端部と下側端部を有し、両脚部対がその上側端部において前記座部の前記前部に取り付けられていることを特徴とする椅子。
【請求項２１】
請求項１２に記載のシステムにおいて、前記接続具が前記支持構造の平行な支持脚部から一端が飛び出しており、前記接続具が前記支持構造の後部側へ向けて延在していることを特徴とするシステム。
【請求項２２】
請求項１２に記載のシステムにおいて、前記支持構造が再充電可能な電池を有し、前記椅子が当該電池を充電する電源を具えることを特徴とするシステム。
【請求項２３】
請求項１２に記載のシステムにおいて、前記椅子が前記支持システム接続具の下にあることを特徴とするシステム。
【請求項２４】
椅子システムであって、
請求項１に記載の椅子と、
ａ）脚部がそれから伸びている身体部分と、

ｂ）持上げ機構を前記衣服に取り付けるために前記身体部分に固定された取付金具と、を含む持ち上げ用衣服とを具え；

前記身体部分の少なくとも一部がバイアスを有し、かつ前記衣服を着用した人を持上げ方向に持ち上げると前記持上げ方向に対して傾斜した方向に前記衣服がその人の上で締まるように配向されている材料で形成されていることを特徴とする椅子システム。